

# 令和6年産 麦類技術情報 第2号

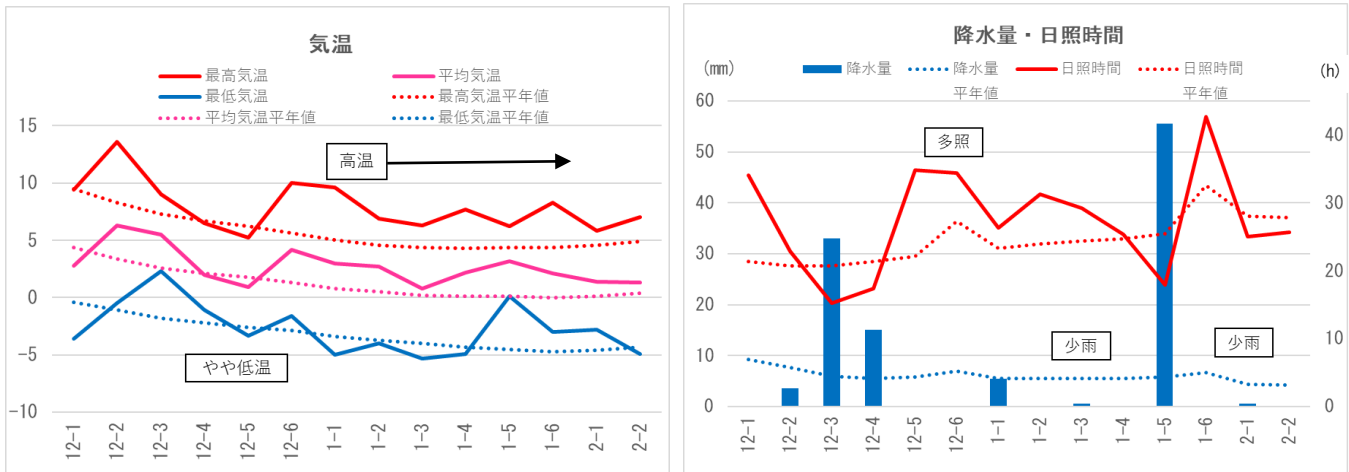
令和6年2月19日 宮城県美里農業改良普及センター

Tel 0229-32-3115 Fax 0229-32-2225

URL <https://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>



## 1 気象経過 (12月第1半旬～ アメダス鹿島台)



最低気温が低い期間はありましたが、最高・平均気温はおおむね高温で推移しました。散発的に降雨があり、降水日数は少ないものの、月単位では平年を上回る降水量となっています。日照時間は、12月以降多めで推移しています。

## 2 生育調査ほ生育概況

表1 小麦生育調査結果

品種	地区	区分	播種日	条間 (cm)	12月15日		2月10日	
					草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )
シラネコムギ	大崎市 鹿島台	本年値	10/26	22.0	14.4	554.5	14.7	993.2
		前年比・差	+12	88%	121%	56%	144%	84%
		平年比・差	-20	89%	192%	99%	162%	119%
夏黄金	涌谷町	本年値	10/23	22.4	12.4	421.9	11.1	633.9
		前年比・差	-5	102%	120%	133%	129%	110%
		平年比・差	-11	106%	140%	129%	142%	130%

※平年値は過去5年間の平均。

2月10日調査では、シラネコムギ、夏黄金とも、平年並みから平年を上回る草丈・茎数です。管内は生育が2極化しており、播種の早いほ場では平年を上回り、暖冬のため幼穂長の生育も早めです。特に10月播種のオオムギでは、すでに幼穂形成期をすぎたほ場もあり、茎数過剰のため肥料切れによる葉の黄化などが見られます。

大豆跡などで播種が遅れたほ場は、出芽前～出芽直後に越冬に入ったほ場が多く、生育が遅れています。

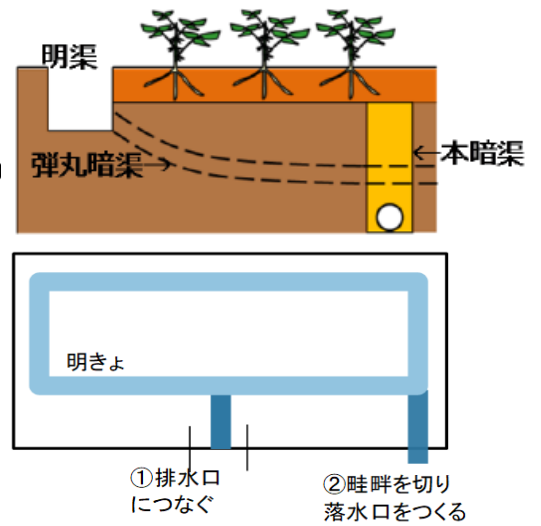
### 3 今後の管理について

#### (1)排水の見直し

・根の伸長抑制や浅根化による分けつ減少、葉の黄化などの麦の湿害を防ぐだけでなく、麦踏みや追肥等の作業を適期に行うためにも大切です！！

・明きよが施工されていても、深さが足りない、排水路がないなど十分な効果を発揮できないほ場が見られます。

**いま一度確認を！！**



明きよ施工のイメージ図  
(上)深く掘り弾丸暗渠に接続  
(下)排水路の確保

#### (2)麦踏み

・越冬後の麦踏みは、起生期～茎立ち(主稈長 2cm, 幼穂長 2mm 程度)前までに実施しましょう。目安として、「平均気温 4℃以上」「ほ場に靴で入って、土がつかない程度に乾いた」ときが踏み時です。

- 播種の早いほ場では、生育が進んでいるので、茎数過剰や倒伏を避けるため積極的に麦踏みを行いましょう。ただし播種の早いオオムギほ場で既に茎立ちしている場合には避けてください。
- 大豆あとなど播種が遅く、生育が遅れているほ場では、麦踏みは控え生育の確保を優先しましょう。

#### (3)追肥

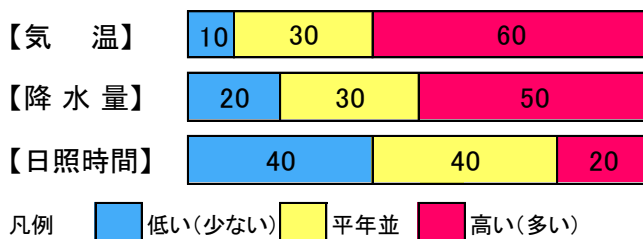
・株直し追肥は、越冬前生育量(茎数 400～500 本/m<sup>2</sup>)が確保されているほ場では原則として必要ありません。

・以下のような場合、幼穂形成期前に窒素成分量で 1～2kg/10a を追肥します。

- ①全身が黄化するなど極端な肥料切れが見られる場合
- ②地上部が無くなるほどの鳥害を受けた場合
- ③越冬前生育量が不足している場合

○10 月播種のオオムギでは既に幼穂形成期間近のほ場が多いです。幼穂形成期に達したら、穂数増加のため窒素成分量 2～2.5kg/10a を追肥しましょう。生育が進んでいますので、ほ場の生育状況をこまめに確認してください。

2/16気象庁発表 東北地方1か月予報(2月17日から3月16日)



気温は、期間の前半が特に高いでしょう。また、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。